

講義コード	B1000901	開講年度	2022	講義区分	講義	講義開講時期	後期
講義名	世界の歴史			開講学期	4・6	基準単位数	2.0
(副題)		実務経験		開講曜日	月曜日	開講時限	5時限
開講学部・学科	工学部先端工学基礎学科			科目分類名	教養科目		
英文科目名	World History			科目分野名	ナンバリングコード1234		
担当教員	教育職員	◎ 浅野 幸治		職名	准教授		

授業の目的・方針

*担当教員は3名まで表示

現代世界を形作ってきたのは、西洋の先進国である。この授業では、現代世界を理解するために、西洋の近現代史を概観する。それを、政治や経済、社会や思想の歴史を中心として、何故、どのようにして西洋の諸国が強大となったのか、また普遍的な価値をどのように発見し発展させてきたのか、という観点から見る。

授業の達成目標

- ①資本主義の発達と産業革命と市民革命がいかにして西洋列強の軍事的優位をもたらしたかを理解する。
- ②市民革命の理念、資本主義の精神、資本主義の仕組みを理解する。
- ③様々な種類の文章を読み、日本語の能力を高める。

学習・教育目標

【学部ディプロマポリシーに基づく。〔対応する授業の達成目標〕】

- (i) 日本語による的確なコミュニケーション能力および英語等の外国語による基本的なコミュニケーション能力〔①～③〕
- ◎ (ii) 物事に対して幅広い見方、論理的な考え方ができるとともに、説明できる能力〔①②〕
- (iii) データ科学を含む十分な工学基礎の知識を修得し、それを工学分野の学習に適用する能力〔 〕
- (iv) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の基礎知識〔 〕
- (v) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の内少なくとも1分野の専門知識・技術〔 〕
- (vi) 目標を把握し、創造性を発揮し解決策を立て、問題を解決する能力
および協調してチームとしての目標達成に寄与することができる能力〔 〕
- (vii) 修得した学識と能力を活用し、技術者の果たすべき役割と社会的責任を理解しつつ、
研究を遂行できる能力〔 〕

授業形式

講義形式である。履修者の姿勢としては、ノートをとることよりも、考えながら話を聴くことが重要である。

◆ICTを使用する授業（左に○）

クリッカーを用いた小テスト、Zoom等を用いた投票機能、チャットを用いた質問受付等

◆アクティブ・ラーニング型の授業要素（番号左に○）

- (1) PBL（課題解決型学習）
- (2) 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う）
- (3) ディスカッション、ディベート
- (4) グループワーク
- (5) プレゼンテーション
- (6) 実験、実技、実習およびその要素を含む科目、フィールドワーク

成績評価方法

〔 〕内は対応する授業の達成目標

小論文80%〔①②③〕 授業中または授業後の小作文20%〔①②③〕

小論文は、評価の後、学期末に返却する。

10回以上出席していることが、成績評価の前提条件である。言い換えると、出席回数が10回に満たない場合、自動的に不

講義コード	B1000901	講義名	世界の歴史
-------	----------	-----	-------

合格になる。

オンライン授業の場合も成績評価方法は同じとする。

教科書

レーニン著（角田安正訳）「帝国主義論」（光文社古典新訳文庫）2006年 ISBN 9784334751128

参考書、文献

- (1) 大下尚一他著「西洋の歴史——近現代編」（ミネルヴァ書房）1998年 ISBN 4623028747
- (2) J・ロック著（鶴飼信成訳）「市民政府論」（岩波文庫）1968年 ISBN 4003400771
- (3) M・ヴェーバー著（大塚久雄訳）「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」（岩波文庫）1989年 ISBN 4003420934
- (4) B・フランクリン著（松本慎一・西川正身訳）「フランクリン自伝」（岩波文庫）1957年 ISBN 4003230116
- (5) K・マルクス、F・エンゲルス著（大内兵衛・向坂逸郎訳）「共産党宣言」（岩波文庫）1971年 ISBN 4003412451
- (6) K・マルクス著（長谷部文雄訳）「賃銀・価格および利潤」（岩波文庫）1981年 ISBN 4003412486

授業オフィスアワー

（曜日・時間帯・場所等）

月曜から木曜までの昼休み（12:30～13:00） 場所は研究室（S5-18）

準備学習、注意事項

授業時間外の学習〔準備学習等〕、および学習上の注意事項

事前学習は必要ありません。事後学習は、1時間くらい必要だと思います。授業で配布する資料をよく読むこと。

西洋近現代史の流れ、およびその意味を自分で述べられるように、よく理解してもらいたい。歴史の意味を理解するためには、資料を熟読することが重要である。

講義コード	B1000901	講義名	世界の歴史
-------	----------	-----	-------

回	時限/年月日/担当	テーマ	内容・達成目標	範囲（章、ページ番号）
1		序論	近代の前——中世	
2		近代の幕開け 1	大航海時代 1	
3		近代の幕開け 2	大航海時代 2	
4		近代国家の成立	フランスの絶対王政	
5		イギリスの絶対王政	絶対王政とその破綻	「権利請願」
6		イギリスの市民革命 1	清教徒（ピューリタン）革命	
7		イギリスの市民革命 2	名誉革命	「権利章典」、ロック『市民政府論』第2章、第3章16～17節、第8章95節、第9章、第13章149節
8		アメリカの植民	植民とその発展	クレヴクール「アメリカ農夫の手紙」
9		アメリカ独立革命	アメリカ独立革命に至る経緯	トマス・ペイン『コモン・センス』資料、「独立宣言」
10		フランス革命 1	フランス革命の始まり	ルソー『社会契約論』第1編第1～9章
11		フランス革命 2	フランス革命の展開	「人および市民の権利宣言」
12		資本主義の発達	資本主義の精神と制度	ベンジャミン・フランクリン『自伝』資料他
13		産業革命	繊維産業、蒸気機関、製鉄など	
14		社会主義	労働者の窮状と剰余価値	マルクス、エンゲルス『共産党宣言』資料、マルクス『賃銀・価格および利潤』資料
15		帝国主義的発展	帝国主義とは何か	レーニン『帝国主義論』
16		定期試験（レポートで代替）		

